

ニュージーランド - 利上げ継続、ペースは緩和の可能性 -

<0.25%の利上げ、政策金利3.00%へ>

4月24日、ニュージーランド準備銀行（以下、RBNZ）は政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを0.25%引き上げ、3.00%とすることを決定しました。

RBNZは主要先進国が低金利政策を続ける中、3月にいち早く利上げに舵を切り、今回で2会合連続の利上げとなります。

声明文では、2014年度3.5%の成長を見込む好調な経済を背景に、インフレ圧力は向こう2年間拡大が続くとの見通しが示され、今後、インフレ期待の抑制を継続し、需要を押し上げない水準まで利上げを行うと述べています。

<ニュージーランドドル（NZドル）は上昇>

NZドルは2月以降、概ね上昇基調を維持してきましたが、足元ではこれまでの上昇の反動に加え、乳製品価格の下落や1-3月の消費者物価指数が予想を下回ったことなどから弱含みで推移していました。

利上げ発表後のNZドルは上昇しました。24日東京市場11時現在、1NZドル=0.863米ドル、1NZドル=88.45円となっています。

<金融政策と為替の見通し>

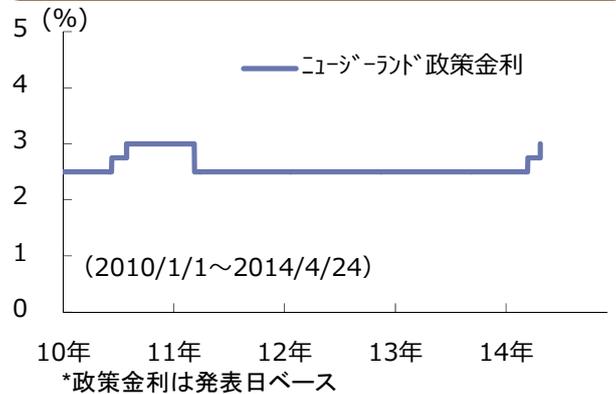
RBNZはインフレ率を目標中央値の2%近辺に維持するよう追加利上げを行っていくと見られます。

但し今後の利上げペースについては、声明文では経済指標と通貨高によるインフレ抑制の効果によると述べており、特に通貨高によるインフレ圧力の低下度合いを評価していく姿勢を示しています。

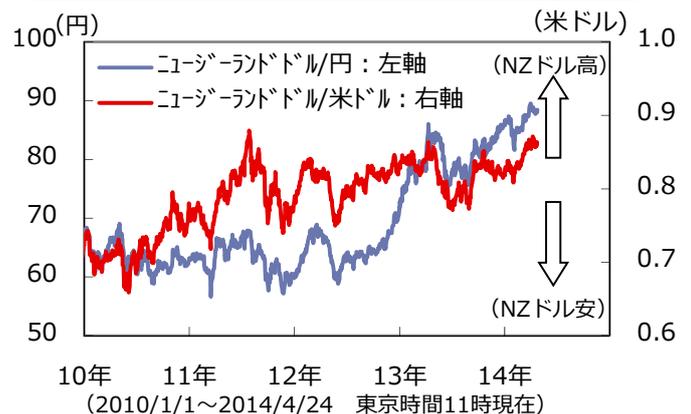
先週発表された1-3月の消費者物価指数は前年比+1.5%とRBNZの物価見通しを下回り、通貨高の影響が見られました。今後NZドルが高値で推移した場合、利上げペースが当初の見通しよりも緩やかになる可能性が示されたといえます。

よって、NZドルは上値の重い展開も予想されますが、金利上昇期待を背景に中長期的に堅調に推移すると思われれます。

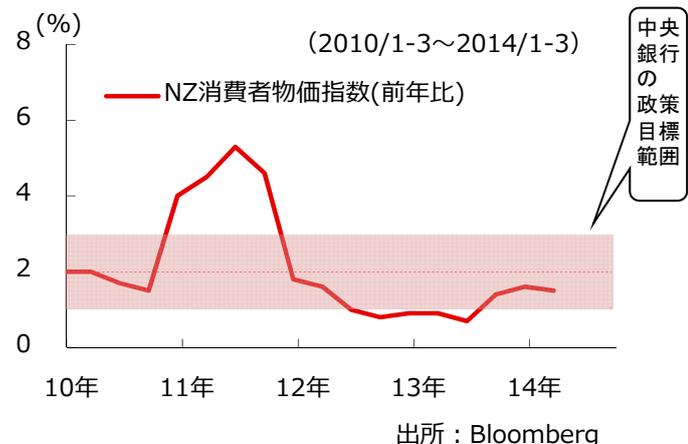
<政策金利の推移>



<NZドル為替の推移>



<消費者物価指数の推移>



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のおいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会